

基本目標

5

未来を担う
若者を育む
まちづくり

《子育て・若者支援》

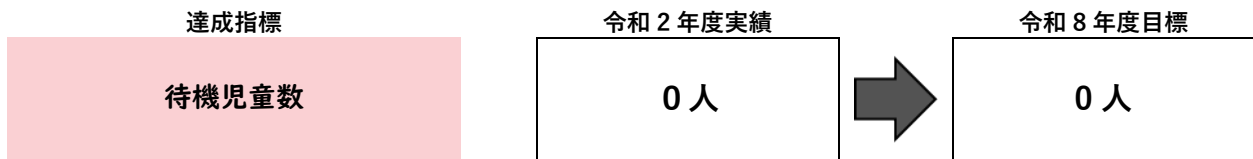
1 次世代の育成支援

1 児童福祉

目指す姿（5年後の状態）

保育を必要とする家庭の保護者が安心して子どもを預けることができる環境があり、仕事と子育ての両立した生活が送られています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）



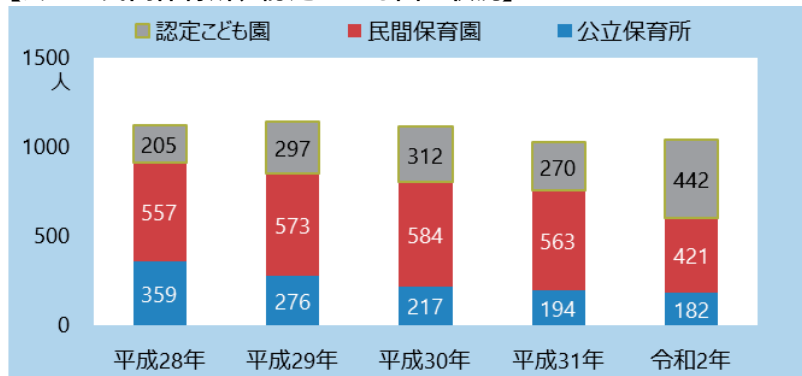
【指標の説明・根拠】待機児童が発生することの無いように保育施設を維持していく

現況と課題

- ◆女性の社会進出などを背景に、共働きの子育て世帯が増加するなど、就労形態や生活スタイルが多様化しています。
- ◆このため、延長保育や一時預かり保育など保護者の多様な保育ニーズに合った保育サービスを提供する市内の民間保育所や認定こども園その他保育事業者を引き続き支援し、幼児教育・保育の質の向上とともに、保護者のニーズに応じた多様な保育サービスを提供できるよう、多様な事業者の新規参入を支援し、教育・保育の更なる充実に取り組む必要があります。
- ◆また、経済的な困窮などにより、子どもの貧困問題が深刻な社会問題となっているほか、児童虐待の早期発見と迅速な対応が求められています。
- ◆こうした中、市では、第1期計画（平成27年3月策定）で取り組んできた施策や事業を検証し、次代の社会を担うすべてのこどもの健やかな成長と地域で子育てを温かく見守り、支えあっていく環境の整備を目指し、令和2年3月に第2期かすみがうら市子ども・子育て支援事業計画を策定し、今後も関係機関と連携しながら、子ども・子育てのための支援を総合的、一体的に推進を図る必要があります。

データ

【公立・民間保育所、認定こども園の状況】



資料：子ども家庭課（各年4月1日現在）



施策の方向

① 保育サービスの充実

保護者の就労形態の多様化や地域のニーズに応じて、延長保育や一時預かり保育などの保育サービスの提供とともに、安定した保育サービスを継続して提供するため、多様な事業主体の参画を促進します。

② 放課後児童クラブの充実

放課後、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校児童を対象に適切な遊び及び生活の場を提供し、引き続き、児童の健全育成を図ります。

③ 家庭児童相談

子どものすこやかな成長のための相談、児童虐待、生活困窮、DV など子どもに関わる各種相談に応じ、関係機関との連携・協力のもと、児童福祉の健全化を図ります。

④ 施設の適正管理と環境整備の充実

安定して保育の提供ができるよう民間保育園等を支援し保育環境の維持と向上を図ります。

⑤ ひとり親家庭の支援

ひとり親家庭の自立に向けた支援や相談体制の充実を図り、生活の安定、自立に向けた経済的な支援を推進します。

⑥ 子どもの貧困対策の推進

貧困の状況にある子どもが健やかに成長できる環境整備を進めます。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標	令和2年度実績	令和8年度目標
放課後児童クラブ入会児童数 【指標の説明】 放課後児童クラブに入会する年度末現在の入会児童数	593人	600人
家庭児童相談数 【指標の説明】 各種相談に応じた人数	117人	111人
市内民間保育施設等の施設数 【指標の説明】 市内における民間の保育施設等の施設数を維持する	8箇所	8箇所
児童扶養手当の受給者数 【指標の説明】 市から児童扶養手当の支給を受けている人数	301人	295人
ひとり親家庭の就業率 【指標の説明】 母子家庭の母、又は父子家庭の父の就業率	91%	93%以上

関連する市の個別計画

◆ 第2期子ども・子育て支援事業計画（2020-2024）

1 次世代の育成支援

2 少子化対策

目指す姿（5年後の状態）

子育て家庭が多くの人に支えられながら子育ての楽しさと喜びを感じ、
次代を担う子どもたちが夢や希望をもって健やかに成長しています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）

達成指標

子育ての環境や支援の満足度

令和2年度実績

未就学児 2.83
就学児 2.65

令和8年度目標

未就学児 3.20 以上
就学児 3.00 以上

【指標の説明・根拠】 子育ての環境や支援について満足している者の割合（5段階評価）

現況と課題

- ◆ 核家族化の進展や地域社会における人と人とのつながりが希薄になる中、子育てに不安や負担を抱える親（保護者）が増えており、安心して子育てできる環境づくりが求められています。
- ◆ このため、市では、妊娠・出産期からの切れ目のない支援をより一層進め、引き続き、子育て家庭を地域社会全体で支え、不安や負担の軽減を図り、すべての子育て家庭が安心して子どもを生み育て、次代の社会を担う子どもが地域で安心して健やかに成長できる環境づくりとともに、子どもや子育て家庭への支援を総合的に進めていく必要があります。

施策の方向

①安心して子育てできる環境づくり

総合戦略

子育て家庭を地域社会全体で支え、すべての子どもたちが健やかに成長できる仕組みづくりを進めます。

3-1-2 子育て支援の充実

②出産や子育てに関する情報発信の充実

子育て世帯が子どもの成長や発達を正しく理解し、必要に応じて子育てに関する支援が受けられるよう、子育て支援サイト「かすみっ湖」などを通じて、出産や子育てに関する情報を分かりやすく発信します。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標

子ども・子育て支援事業計画事業数

【指標の説明】 地域子ども・子育て支援事業（13事業）の維持

子育て支援アプリ「かすみっ湖」の利用者数

【指標の説明】 子育てに関する情報や子どもの成長記録などの機能を備える子育て支援アプリ「かすみっ湖」の利用者数

令和2年度実績

13事業

542人

令和8年度目標

13事業

800人以上

関連する市の個別計画

- ◆第2期子ども・子育て支援事業計画（2020-2024）
- ◆教育振興基本計画（2022-2026）



〔親子ふれあい事業（大塚児童館）〕

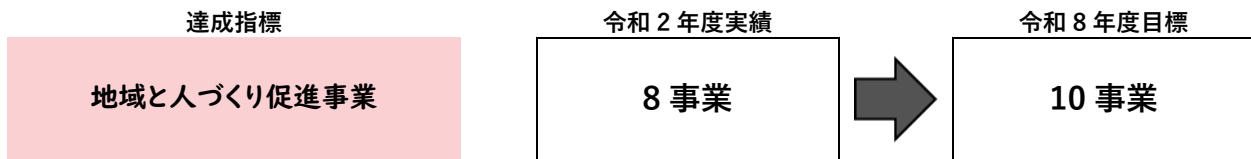
2 社会性豊かな青少年の健全育成

1 青少年育成

目指す姿（5年後の状態）

多様な人材が学び合い高め合う地域づくりの中で、小中学生の地元愛着度を高め、将来のかすみがうら市を担う人材として成長しています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）



【指標の説明・根拠】 青少年の健全育成、地域人材の育成、地域と学校の連携強化などの事業数

現況と課題

- ◆市では、これまで地域の宝である子どもたちが、地域の担い手に成長できるよう、「地域の子どもは地域が育てる」という観点から、学校・家庭・地域が連携し、青少年の心身健全育成や非行未然防止、学習支援などのための様々な活動や、子どもの教育と人格形成に関する家庭の教育力を向上させるための事業も進めています。
- ◆かつての多くの子どもたちは、仲間とともに自然の中で遊びながら、あるいは、地域において生活、成長していく過程で、様々な自然体験、社会体験を日常的に積み重ねて成長する機会に恵まれていましたが、今の子どもたちをめぐる環境は、都市化、少子化、電子メディアの普及、地域のつながりの希薄化といった社会の変化などにより、これまで身近にあった遊びや体験の場や本物を見る機会が少なくなり、そのノウハウも継承されなくなり、心や体を鍛えるための負荷がかからない、いわば無重力状態であり、青少年の健全育成にとって、深刻な事態に直面しています。
- ◆そして、新型コロナウイルス感染症流行による休校などが、ネットいじめ、ゲーム依存症、児童虐待の増加につながっているといわれており、こういった外から見えにくい問題を、どうやって見つけて適切な支援につないでいくかが課題となっています。
- ◆次代を担う青少年が、今後の変化の激しい社会において、将来の夢や希望を抱いて積極的かつ主体的に生活を送るためには、彼らが自立への意欲を高め、心と体の相伴った成長を果たすことが必要です。そして、これらの実現のためには、教育関係者だけでなくすべての大人が青少年教育へ参画することが求められます。
- ◆家庭・地域における日常生活の場面から学校教育の場や企業活動などあらゆる場面において、大人が青少年にきっかけを与え、様々なプログラムの提供ができるよう積極的に展開していかなければなりません。
- ◆学校・家庭・地域など社会の全ての構成員が自ら果たす役割と責任を自覚し、社会総ぐるみでこれからの社会を担う青少年の「社会を生き抜く力」の養成に向けて具体的に行動していくことが必要です。

施策の方向

① 青少年の健全育成 総戦略

青少年育成かすみがうら市民会議や市子ども会育成連合会などの活動を強化し、多世代との交流の機会を増やすことにより市民総ぐるみで地域社会と青少年との結びつきを強化します。

学校・家庭・地域の連携による地域住民が取り組むボランティア活動や、保護者を対象とした家庭教育学級を開講し、子育ての悩みなど気軽に相談できるネットワークづくりの支援に努めます。

少年非行の早期発見や未然防止のため、青少年相談員が中心に家庭と地域と行政が一体となって、街頭指導や夜間パトロールなどを行います。また、携帯電話やインターネット等のトラブル、いじめや非行、薬物乱用など、有害環境から子どもを守るための対策を推進します。

3-2-2 青少年健全育成の推進

② 地域人材の育成

高校生会や二十歳の集い実行委員会、大人クラブなど若者や現役世代の自主的な活動を支援するとともに、各種団体の交流や連携により、将来の地域の担い手育成に努めます。自らの学習経験をいかして地域に貢献する考えをもつ社会力を身につけた人材を育成します。

いばらきっ子郷土検定の開催などにより、茨城県および本市に対する愛着や誇りを持った人材を育成します。

③ 学校・家庭・地域の連携協力

コーディネーター等の研修や活動を支援することにより、地域と学校との連携・協働のためのコーディネート機能を強化推進します。

地域の人材、団体、機関と連携・協力し、地域学校協働活動の継続的・安定的な活動を推進します。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標	令和2年度実績	令和8年度目標
青少年健全育成活動事業数	92 事業	167 事業
【指標の説明】 青少年育成かすみがうら市民会議、市子ども会育成連合会、青少年相談員連絡協議会、家庭教育学級など活動事業数		
地域人材育成活動事業数	11 事業	20 事業
【指標の説明】 高校生会や成人式実行委員会、大人クラブなど活動事業数		
スポーツ推進委員活動回数	—	150 回
【指標の説明】 スポーツ推進委員の活動事業及び研修会、各種スポーツ教室等の開催回数		

関連する市の個別計画

- ◆生涯学習推進計画（2018-2022）
- ◆教育振興基本計画（2022-2026）



〔非行防止キャンペーン（神駅）〕

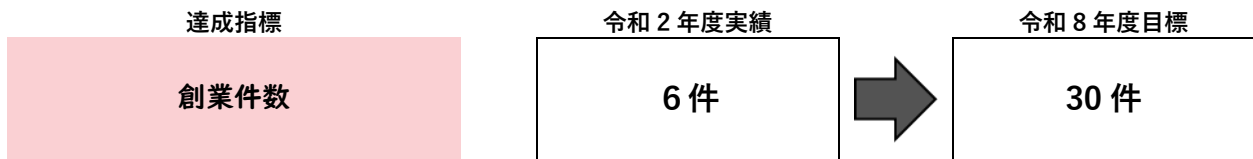
3 起業化の支援

1 起業・創業支援

目指す姿（5年後の状態）

様々な支援機関が連携し創意工夫を凝らした創業支援により創業しやすいまちとなり、地域に事業者が増え、新たな雇用が生まれることでまちが賑わい元気になっています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）



【指標の説明・根拠】市内で創業した法人又は個人事業主の件数

現況と課題

- ◆ 近年、後継者不在による中小事業者の廃業が全国的に課題となっており、本市においても、市内での事業活動を活性化するためには、起業・創業とともに、既存事業の承継や中小企業に対する支援が必要となっています。市内の中小事業者に対する支援を充実させるため、地元金融機関や商工会等各種支援機関との連携を図りながら、起業・創業、経営相談や事業承継に対する支援の充実を図ります。
- ◆ また人口減少や高齢化が進む地域の担い手を育成するため、異業種連携による地域活動の支援、移住者が地域コミュニティに参加する機会の提供等に取り組むことで、地域固有の課題が浮き彫りとなり、新しいビジネスチャンスに繋がることを期待できます。
- ◆ さらに首都圏からの物理的距離に関わらず、IT技術の深化により、テレワーク等遠隔地においても仕事が成り立つ潮流が今後ますます加速することから、良質な住環境の整備やコワーキングスペース等働きやすい環境づくりも重要な要素となります。

施策の方向

①創業支援

市内において新たに創業する方に対し、創業に係る必要な費用を支援することで、産業の振興、新規雇用の創出及び移住・定住の促進を図ります。

②新事業・新分野進出支援

市内において新たに新事業・新分野に進出する方に対し、必要な費用を支援することで、産業の振興、新規雇用の創出及び移住・定住の促進を図ります。

③第二創業支援

市内において既に事業を営んでいる方又は法人の後継者が事業を引き継いだ場合に、市内において業務転換をし、又は新事業もしくは新分野の進出に対し、必要な費用を支援することで、産業の振興、新規雇用の創出及び移住・定住の促進を図ります。

④創業等に係る制度活用支援

茨城県や商工会、地元金融機関等各種支援機関と連携し、ビジネスプランの構築や事業計画の作成、融資制度や補助事業の資金調達支援など円滑な創業等に向けた支援に努めます。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標

創業支援に対する補助金の交付件数

【指標の説明】新たに事業を開始する際に補助金を活用した件数

新事業・新分野進出支援に対する補助金の交付件数

【指標の説明】新事業若しくは新分野に進出する際に補助金を活用した件数

第二創業支援に対する補助金の交付件数

【指標の説明】後継者が事業を引き継ぎ、事務転換した際に補助金を活用した件数

創業等に係る相談件数

【指標の説明】創業・起業、新分野進出などの連絡・相談件数

令和2年度実績

2件

1件

0件

6件

令和8年度目標

19件

30件

1件

100件



〔事業継続力強化作成セミナー〕

4 就業機会の拡大

1 定住促進

目指す姿（5年後の状態）

かすみがうら市の魅力や地元企業のすばらしさを知ってもらうことで、UIJ ターンや成婚者、移住・定住者が増え、若い世代が住み続けたいまちになっています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）

達成指標

移住定住・結婚支援事業による
移住定住者数

令和2年度実績

16人



令和8年度目標

100人

【指標の説明・根拠】 婚活サポートセンター成婚者（本市定住）並びに各種移住定住支援制度利用者

現況と課題

- ◆人口減少、少子高齢化が進む現状を踏まえ、結婚を本人やその家族だけではなく、地域全体の問題と捉え、移住・定住促進の観点から、平成30年4月に婚活サポートセンターを開設し、結婚相談、センターへの登録、お見合い、婚活パーティー、婚活講座、交際成立カップルの見守り、成婚者への支援等、総合的な結婚支援を推進してきました。登録者数、成婚カップル数など、開設以来、着実に実績をあげてきており、今後も更なる事業内容の拡充に努めながら、積極的に取り組んでいくことが求められています。
- ◆また、移住定住者の増加を目指し、移住者を対象とした、住宅取得や家賃、生活支援金等の各種補助金・支援金制度を整備しました。あわせて、関係人口を増やしていくため、田舎暮らし志向の人を対象とした定期的な情報提供「かすふる通信」や回帰支援センターとの連携による説明会・相談会、県主催の「if design project」への協力、ワーケーションや観光事業等からのアプローチなどに取り組みました。
- ◆こうした移住・定住促進のための制度や仕組みは整備されてきており、今後はこれらを拡充しながら継続的な取組としていく必要があります。

施策の方向

① 婚活サポート

総合戦略

定住に繋がるきっかけとして、結婚支援事業と他の支援メニューの連携できる仕組みづくりを進めます。

3-1-1 市民の結婚と定住に向けた支援の強化

② 移住定住者人口増を目指した各種支援策の推進

総合戦略

移住者が本市を選んでくれるよう、住宅取得や家賃、生活支援金など多様な補助金・支援金制度を拡充・継続していきます。また、庁内各部署で取り扱う、移住者向けの住まいや子育て・教育等の支援策をまとめたチラシを作成し、積極的にPRしていきます。

2-3-1 移住・定住の推進

③ 関係人口増加に向けた情報発信

総合戦略

市外在住の登録者に市の情報を定期的に送付する「かすふる通信」や回帰支援センターとの連携による移住希望者向けの説明会・面談会を活用し、積極的に情報発信を行っていきます。

2-3-2 かすみがうら市の魅力発信

④ 通学定期券補助

鉄道を利用して遠距離通学する大学生等の保護者の経済的負担を軽減することで、教育機会の均衡を図り転出を抑制します。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標

チラシ、広告などによる
婚活サポートセンターの周知回数

【指標の説明】 令和2年度実績／チラシの配布1回、情報誌・新聞等への掲載3回

移住者向け広報媒体の作成

【指標の説明】 チラシ等の作成

関係人口増に向けた取組数

【指標の説明】 関係人口増に向けた取組の数

令和2年度実績

4回

—

2企画

令和8年度目標

7回

1回

3企画



〔婚活サポートによる成婚カップル〕

4 就業機会の拡大

2 就業促進

目指す姿（5年後の状態）

地元企業からの情報発信や新しい働き方の推進などによって就業の場が広がり、かすみがうら市が若い世代にとって暮らしやすいまちになっています

達成指標（「目指す姿」の達成状況を測る指標）

達成指標

就労支援・企業情報発信サイトへの
登録件数

令和2年度実績

—

令和8年度目標

150件

【指標の説明・根拠】 就労支援・企業情報発信サイトに企業情報や求人情報を登録掲載した事業者の件数

現況と課題

- ◆ 少子高齢化、人口減少社会から人生100年社会に向けた取組及び、女性の社会進出の増加に伴い、女性や高齢者（65歳以上）の就業率の上昇等に起因し、近年の就業者数が増加傾向にあります。一方で本市における有効求人倍率は2.21（令和3年12月現在）と、企業側の求人に対し就労希望者が不足している状況にあります。
- ◆ 市内の従業員数のおよそ半数を占める雇用の吸引産業である製造業及び卸・小売業をはじめ、市特有の地域資源を取り扱う農水産事業者や飲食店等市内には多様な産業が立地しています。
- ◆ 市内で頑張る事業者の魅力を発信し、求職者とのマッチングを強力に進めるため、ハローワークとの密な連携による就労機会の確保、引き続きの企業誘致の推進、マッチングサイトの構築等を図るとともに、求職者が求めるワークスタイルの充実度を引き上げるサポートも必要となります。

施策の方向

①UIJ ターン就職・インターンシップの促進

地元企業の魅力を感じてもらったり市内企業を訪問し、見学・体験してもらうために、就労支援・企業情報発信サイト「 Bizワークかすみがうら」による市内企業とのマッチングやワーケーションを通じたインターンシップなど就職関連イベントの情報を提供し、UIJ ターン就職・インターンシップの促進を図ります。

②就労相談等の充実

ハローワークとの連携による就業機会の拡大や、いばらき県南若者サポートステーションとの連携による様々な就労支援プログラムの実施において、若者のための就労相談等の充実を図ります。

③企業誘致

企業の立地を促進させ、産業の振興及び雇用機会の拡大を図ります。

活動指標（「施策の方向」の取組における指標）

活動指標

UIJ ターン就職・インターンシップの促進

【指標の説明】 就労支援・企業情報発信サイト「 Bizワークかすみがうら」における事業者情報登録件数

就労相談等の充実

【指標の説明】 いばらき県南若者サポートステーション相談件数

令和2年度実績

—

令和8年度目標

150件

1件

10件



〔 Bizワークかすみがうらホームページ〕